



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 クオール株式会社

コード番号 3034 URL <http://www.qol-net.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 勝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 福満 清伸 TEL 03-6430-9060

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	55,134	12.9	1,704	△28.6	1,736	△25.7	640	△41.4
24年3月期第3四半期	48,819	7.8	2,386	33.5	2,337	30.4	1,093	53.8

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 635百万円 (△42.4%) 24年3月期第3四半期 1,103百万円 (54.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	25.00	—
24年3月期第3四半期	44.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	40,523	12,394	30.4
24年3月期	32,582	12,750	39.1

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 12,312百万円 24年3月期 12,750百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	1,450.00	—	1,725.00	3,175.00
25年3月期	—	8.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成24年3月期期末配当金の内訳は、普通配当725円、記念配当1,000円であります。

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,614	18.8	3,401	2.8	3,415	5.5	1,640	5.1	64.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有  
 新規 1社 （社名）アポブラステーション株式会社、除外 1社 （社名）  
 （注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有  
 （注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	26,236,800株	24年3月期	26,236,800株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	735,400株	24年3月期	154,600株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	25,598,849株	24年3月期3Q	24,805,527株

（注）自己株式数には、従業員持株ESOP信託口の所有する当社株式を含めて記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

当四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、当四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信〔添付資料〕2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（株式分割について）

当社は平成23年10月1日を効力発生日として株式1株につき2株の割合での株式分割及び平成24年4月1日を効力発生日として株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

なお、平成24年3月期の年間配当金については、株式分割前の実績を記載しております。

（その他特記事項）

決算補足説明資料は、適宜当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に一部緩やかな回復傾向にあるものの、欧州や中国等の景気先行きについて、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主力である保険薬局業界におきましては、平成24年4月に調剤報酬・介護報酬の同時改定及び薬価改定が実施されました。主な施策として、地域社会を支える在宅医療の充実策や、引き続き後発医薬品の使用促進策に重点が置かれたことが特徴的となりました。

このような環境のもと、当第3四半期連結累計期間における当社グループ連結業績は、売上高55,134百万円（前年同期比12.9%増加）、営業利益1,704百万円（前年同期比28.6%減少）、経常利益1,736百万円（前年同期比25.7%減少）、四半期純利益640百万円（前年同期比41.4%減少）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ① 保険薬局事業

当第3四半期連結累計期間の出店状況につきましては、新規出店38店舗、子会社化による取得61店舗の計99店舗を出店した一方、薬局1店舗、フランチャイズ5店舗の計6店舗閉店した結果、当社グループ全体での店舗数は直営店419店舗、フランチャイズ1店舗となりました。売上高につきましては、薬価のマイナス改定及び調剤報酬改定の影響を受けたものの、前期及び当第3四半期連結累計期間における新規出店が増加寄与し、52,223百万円（前年同期比10.2%増加）、前年同期比4,822百万円の増収となりました。利益につきましては、今後の当社グループにおける新規出店計画及び事業拡大に必要な薬剤師及び医療事務の確保を期初計画どおり推進した一方、出店時期が若干ずれ込んだ影響により、営業利益は2,514百万円（前年同期比14.0%減少）、前年同期比409百万円の減益となりました。

#### ② その他事業

当第3四半期連結累計期間におきましては、アポプラスステーション株式会社の全株式を取得したことにより、その他事業売上高は2,911百万円（前年同期比105.2%増加）、前年同期比1,492百万円の増収となり、営業損益は55百万円の損失（前年同期の営業利益94百万円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、40,523百万円となり、前連結会計年度末から7,941百万円増加しております。

これは主に、現金及び預金が464百万円減少した一方、売掛金が1,509百万円、商品及び製品が1,502百万円増加し、流動資産合計で2,765百万円増加したことによるものであります。また、のれん等の増加により、固定資産合計で5,175百万円増加したことによるものであります。

#### ② 負債の状況

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、28,129百万円となり、前連結会計年度末から8,297百万円増加しております。

これは主に、短期借入金が2,926百万円、1年以内返済予定の長期借入金が1,126百万円及び長期借入金が2,959百万円増加したことによるものであります。

#### ③ 純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、12,394百万円となり、前連結会計年度末から356百万円減少しております。

これは主に、少数株主持分が81百万円増加した一方、自己株式の取得により437百万円減少したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期連結業績予想につきましては、平成24年12月13日付の業績予想の修正に関するお知らせで公表いたしました予想値から変更ありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間より、アポプラスステーション株式会社は新たに子会社となったため連結の範囲に含めております。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### （税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### （会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,984	2,519
売掛金	9,671	11,180
商品及び製品	2,163	3,666
仕掛品	30	87
貯蔵品	99	103
繰延税金資産	592	624
その他	384	509
貸倒引当金	△6	△7
流動資産合計	15,919	18,685
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,387	3,881
工具、器具及び備品（純額）	1,035	1,066
土地	1,172	1,404
その他（純額）	74	270
有形固定資産合計	5,669	6,622
無形固定資産		
のれん	7,064	10,983
ソフトウェア	735	801
その他	244	102
無形固定資産合計	8,045	11,887
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,957	2,203
繰延税金資産	276	304
その他	716	821
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	2,947	3,327
固定資産合計	16,662	21,838
資産合計	32,582	40,523

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,043	11,110
短期借入金	990	3,916
1年内返済予定の長期借入金	1,982	3,108
未払法人税等	703	461
賞与引当金	892	545
その他	1,488	2,065
流動負債合計	16,100	21,207
固定負債		
長期借入金	3,395	6,354
繰延税金負債	—	0
退職給付引当金	0	38
資産除去債務	288	410
その他	47	117
固定負債合計	3,731	6,921
負債合計	19,831	28,129
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,126	1,126
資本剰余金	7,139	7,157
利益剰余金	4,465	4,451
自己株式	△9	△447
株主資本合計	12,721	12,287
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29	24
その他の包括利益累計額合計	29	24
少数株主持分	—	81
純資産合計	12,750	12,394
負債純資産合計	32,582	40,523

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	48,819	55,134
売上原価	42,571	48,801
売上総利益	6,248	6,332
販売費及び一般管理費	3,861	4,628
営業利益	2,386	1,704
営業外収益		
家賃収入	12	6
受取手数料	26	38
負ののれん償却額	15	—
保険解約返戻金	—	36
その他	32	52
営業外収益合計	87	134
営業外費用		
支払利息	40	51
株式交付費	7	—
持分法による投資損失	23	3
株式公開費用	56	41
その他	8	6
営業外費用合計	137	102
経常利益	2,337	1,736
特別利益		
固定資産売却益	2	1
その他	—	0
特別利益合計	2	1
特別損失		
固定資産売却損	2	0
固定資産除却損	107	44
災害による損失	21	—
その他	15	3
特別損失合計	146	47
税金等調整前四半期純利益	2,193	1,690
法人税等	1,100	1,050
少数株主損益調整前四半期純利益	1,093	640
少数株主利益	—	0
四半期純利益	1,093	640

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,093	640
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	10	△4
その他の包括利益合計	10	△4
四半期包括利益	1,103	635
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,103	635
少数株主に係る四半期包括利益	—	0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、当第3四半期連結累計期間におきまして、「従業員持株E S O P信託」の信託契約に基づき自己株式の取得及び処分を行っており、取得による増加が499百万円、処分による減少が62百万円となりました。その結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が437百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は447百万円となっております。